

《担当者名》○塚本 容子 [yokot88@hoku-iryo-u.ac.jp]  
石角 鈴華 [ishizumi-re@hoku-iryo-u.ac.jp]

**【概要】**

本科目では、感染症に対する起因微生物の特徴を学習し、抗菌薬の投与の基本を学ぶ。プライマリ・ケアの臨床において頻度が高く遭遇する肺炎や尿路感染、皮膚の感染などの治療について演習にて知識を獲得する。同様に、プライマリ・ケアの臨床において多く遭遇する糖尿病の治療の基礎について学習する。これらの疾患のアセスメントやマネジメントを学習する過程において、NPとしての役割開発を行う。

**【学修目標】**

NPとしての役割を鑑みながら、以下を学習する。

1. 感染症治療の原理原則が説明できる
2. 頻度が高く検出される起因微生物の特徴を理解する
3. 抗菌薬治療の原理原則を説明できる
4. コモンな感染症の治療の実際について、事例を基に検討できる
5. 糖尿病の病態生理について説明できる
6. 糖尿病の病態生理を基に、治療について説明できる
7. 糖尿病の合併症予防について、患者教育も含めて説明できる
8. 糖尿病の治療について、事例を基に検討できる

**【学修内容】**

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 ) 2	感染症治療の原理原則	<b>【講義】</b> ・感染症診療の基本的考え方と診療プロセス ・起因微生物の推定における感染症疫学の活用 ・アンチバイオグラムの活用 ・PK/PK理論に基づいた抗菌薬投与計画 ・empiric therapy, de-escalation	塚本 石角
3 ) 4	感染症治療のための診断	<b>【演習】</b> 起因微生物を推定し、エンピリックセラピーにつなげるための検査の一つとしてのグラム染色について、演習し、診断までの一連の流れを学習する	塚本 石角
5 ) 6	抗菌薬治療における多剤耐性菌：その機序と予防	<b>【演習】</b> 抗菌薬治療において、もっとも重要である多剤耐性菌についてその機序と予防について、事例を基に検討し、ディスカッションを通じて知識を深める	笠原 敬（特別講師） 塚本 石角
7 ) 8	抗菌薬治療の実際：尿路感染	<b>【Web-Learning】</b> （60分×2） 指定された動画を視聴し与えられた課題を行う ・尿路感染の原因となる微生物 ・単純性と複雑性尿路感染 ・治療のための診断と抗菌薬療法 <b>【課題】</b> （30分×2） 動画を使用した上で課題レポートを作成する	塚本 石角
9 ) 10	抗菌薬治療の実際：肺炎	<b>【演習】</b> 以下の内容をPBLにて、学習する ・肺炎の原因となる微生物 ・市中肺炎と医療関連肺炎、ナーシングホーム関連肺炎 ・治療のための診断と抗菌薬療法	塚本 石角
11	抗菌薬治療の実際：皮膚感染症	<b>【演習】</b>	塚本

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		以下の内容をPBLにて、学習する ・皮膚感染症の治療の実際	石角
12 ) 13	糖尿病マネジメント概論	【Web-Learning】(60分×2) 以下の内容の動画を視聴し与えられた課題を行う ・糖尿病の病態生理 ・病態生理から考える薬物療法 ・糖尿病のアセスメント 【課題】(30分×2) 動画を使用した上で課題レポートを作成する	塚本 石角
14 ) 15	プライマリ・ケアにおける糖尿病マネジメント	【演習】 糖尿病の診断から、マネジメント、そして合併症予防について、事例を基にPBLで学習する	渡辺美和(特別講師) 塚本 石角

**【授業実施形態】**

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

**【評価方法】**

筆記試験 70%、プレゼンテーション30%にて評価する

**【教科書】**

感染症プラチナマニュアル(2020). 岡英昭著, メディカルサイエンスインターナショナル  
抗菌薬テキスト MBTABXTEXT20220731.pdf <<https://mbtinfection.base.shop/items/65386933>>  
その他、適宜提示する

**【参考書】**

適宜提示する。

**【備考】**

演習のための白衣の準備については、講義時に説明する

**【学修の準備】**

必要な文献・資料を熟読しておくこと